

令和5年度重点事業 本を読もう！読書活動推進事業

学校図書館を活用した探究的な学びやリラックスして読書ができるよう、学校図書館のリニューアルや読書に関するイベントなどに取り組み、生徒の皆さんが、より通いたくなる学校図書館づくりを目指すため、令和5年度の重点事業である「本を読もう！読書活動推進事業」を実施しています。

○事業に取り組んだモデル校

事業実施にエントリーしてくれた7校です。

- ・いなべ総合学園高等学校（司書 日紫喜梨香さん）
- ・津高等学校（司書 井戸本吉紀さん）
- ・久居農林高等学校（司書 榎本晃子さん）
- ・伊勢工業高等学校（司書 浅生太香さん）
- ・鳥羽高等学校（司書 山下知里さん）
- ・伊賀白鳳高等学校（司書 瀧本志津代さん）
- ・木本高等学校（司書 浅見智海さん）

○事業の概要

①学校図書館リニューアルチームによる計画策定

学校長のマネジメントのもと、司書や司書教諭が中心となり、生徒や家庭、地域の代表者等による「学校図書館リニューアルチーム」を結成し、ハード面の整備や学校図書館イベントの開催など、各学校に応じたリニューアル計画（ソフト・ハード）をボトムアップで策定します。

②学校図書館リニューアル

学校図書館内で探究型の授業ができるよう、移動式の机や椅子、ホワイトボードやプロジェクターを用意したり、思い思いのスタイル（リラックス型・集中型）で読書ができたりするスペースをつくるなど、「リニューアルチーム」のアイデアをもとに効果的なリニューアルを行います。

③学校図書館イベントの開催

リニューアルされた居心地の良いスペースを活用し、リニューアルチームのアイデアに基づき「車座トーク」「ビブリオバトル」「図書館カフェ」などのイベントを実施することで、生徒や教諭が学校図書館へ来館するきっかけづくりや、リピーターの定着を図ります。

④学校図書館サポーターによる運営協力

保護者や地域住民による「学校図書館サポーター」に学校図書館運営に協力していただくことで、例えば学校図書館イベントをより充実させたり、開館時間を延長させたりして、個々の生徒がニーズに応じて学校図書館を活用できるようにするなど、利用機会等の拡充を図ります。

⑤県立学校図書館活性化アクションプラン（仮）の策定

これらの取組実践をもとに、学校図書館をベースとした読書推進の取組をマニュアル化した「県立学校図書館活性化アクションプラン（仮）」を、学校図書館司書を中心にボトムアップで策定し、全ての県立学校に展開します。

○今後の展開

生徒が集い、活気にあふれる学校図書館を学校の中心に！生徒が誇れる素敵な学校図書館が県内に広がるように、次年度以降も本事業を継続して取り組んでいきます。さらに小中学校においても学校図書館リニューアルの取組が広がるよう働きかけるとともに、企業や団体の皆さんを巻き込んだ読書活動を推進する県民運動となるよう機運を醸成していきます。

いなべ総合学園高等学校図書館リニューアル

○リニューアルチーム

[学校] 生徒、校長、教頭、事務長、総務部主任、総務部（図書館担当）

[家庭] PTA役員

[地域] 学校関係者評価委員

○めざす姿

- ・「本」を通じて交流・発信の機会を作り、多様な生徒一人ひとりの実情に応じた図書館活動を提供することで、誰もが安心できる場所、多様な生徒の居場所の一つに図書館が位置付けられるようにする
- ・生徒のための図書館として、幅広い読書体験の提供や学習活動の支援、情報収集・選択・活用能力の育成をする
- ・一人でも多くの生徒が来館し、資料に出会える環境の整備に努める

○取組内容

「哲学対話」

哲学対話とは、「生きるとは」や「ふつうとは」といった哲学的なテーマについて、参加者がお互いの意見をよく聴き、質問しながら一緒に考え、対話するものです。

学校図書館が、人の話を聞き、生徒同士や生徒と先生が交流できるような場所として、位置づけられることで、生徒にとっての居場所の一つとしていきたいと考えています。



さまざまな考え方に接する生徒たち(11/8)



投票所のような(11/10)

「図書館模擬選挙」

資料を人や政党に見立て、実際の選挙のように模擬選挙を実施しました。生徒たちは、図書委員が推薦する漫画の中から好きな作品を選んで投票を行い、小選挙区の候補者を「作品名」、比例代表の政党名を「出版社」と見立てました。当選した2作品を蔵書に加え、最高裁判所裁判官国民審査の裁判官名を「雑誌名」と見立て、現在ある雑誌から変更したい雑誌を決定しました。この他にも「車座トーク」「ビブリアバトル体験会」などの様々なイベントを企画し、多様な生徒が興味関心を持って学校図書館を利用できるよう取り組みました。

津高等学校図書館リニューアル

○リニューアルチーム

[学校] 生徒、企画委員会（校長、教頭、事務長、総務主任、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事、保健主事、探究推進部主任、図書部主任、各学年主任、職員代表）

[家庭] PTA会長及びPTA副会長

[地域] 津市立新町小校長、新町地区自治会連合会会長、谷川士清の会

○めざす姿

- ・生徒同士が本の感想や体験を楽しく共有できる図書館
- ・「自主・自律」や「高い志」を育む一助となる本と人の情報が集まる図書館
- ・生徒が地域のことについて関心を高め、学び、発信することができる図書館

○取組内容

「黑板本棚」

リニューアルの一環として、本棚の側面等を黑板材質にし、チョークで書評などを書くことができるようにした「黑板本棚」を、伊賀白鳳高校に作成を依頼し、館内に取り入れました。生徒同士が本の感想や体験を楽しく共有できる図書館をめざします。



完成した黑板本棚を披露する伊賀白鳳の生徒（12/19）



推し本データベース

「推し本データベースの構築」

Web上に津高生の本の感想を読むことができるデータベースを構築し一般公開します。他の生徒の本の感想を読んで本への関心を高め、多種多様な本を読むきっかけとなりますようにします。将来的には他校の生徒の感想も登録できるようにし、学校を超えて本の感想をやり取りできるようにしていきます。

「リニューアル記念講演会」

津高校のOBである元週刊少年ジャンプ編集長の講演会に、約140人の生徒や卒業生が学校図書館に集まりました。普段学校図書館に来ない生徒を呼び込む企画として大きな効果がありました。生徒の興味関心のあるイベントを実施することで、学校図書館に足を運び、本に親しむきっかけづくりを進めていきます。



元週刊少年ジャンプ編集長の講演のようす（12/12）

久居農林高等学校図書館リニューアル

○リニューアルチーム

- [学校] 生徒、校長、教頭、事務長、コースの教諭、教務、学校司書
- [家庭] 保護者
- [地域] 津市NPO法人ボードゲームスペースSANTAS

○めざす姿

- ・読書センター、学習・情報センターの機能と、1人でも、グループでも、授業でも、生徒対応でも、あらゆるパターンで利用できる、居場所機能もそなえた図書館

○取組内容

「図書館カフェ」

学校図書館に来館した生徒に、食生活コースの3年生が作ったマドレーヌやフィナンシェとドリンクが提供され、本を読んだり、おしゃべりをしたり学校図書館でカフェ気分を堪能しました。



食生活コースの3年生が作った焼き菓子(12/13)



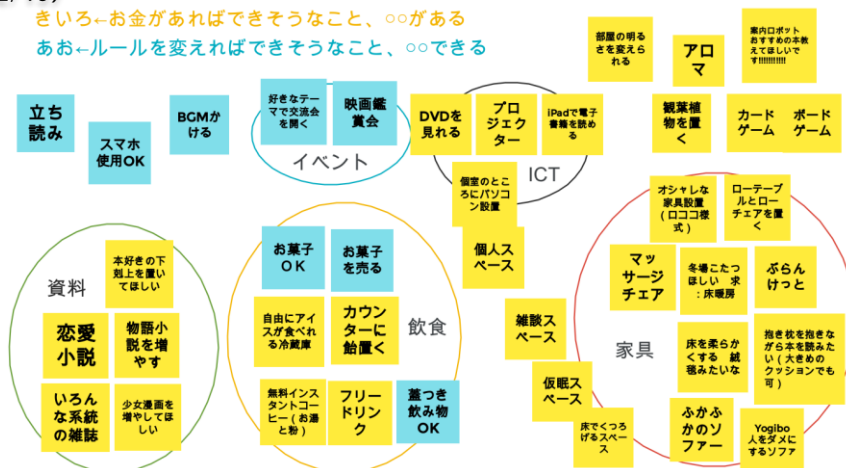
ボードゲームで盛り上がる生徒たち(12/13)

その後、200種類以上のボードゲームが遊べる空間を運営するNPO法人SANTASのスタッフの進行で、参加者は様々なボードゲームを体験し、楽しい時間を過ごしました。これからもボードゲームを通じ、学年やクラスを超えた交流の機会をつくる図書館をめざしていきます。

「理想の図書館プロジェクト」

リビングコース3年生が考えた理想の図書館のソフト面・ハード面の要望をもとに、実現可能なものを取り入れました。また、班に分かれて館内レイアウトと置く家具を考えました。代表の班が選んだ家具を購入し、リラクゼーションスペースと1人席のスペースをリニューアルします。

きいろ←お金があればできそうなこと、○○がある
あお←ルールを変えればできそうなこと、○○できる



理想の図書館を分析したシート

伊勢工業高等学校図書館リニューアル

○リニューアルチーム

[学校] 生徒、図書館活性化推進委員会（校長・教頭・事務長・機械科科长・建築科科长・電気科科长・建築研究部・電気研究部・総務教務部・図書担当・学校司書）

[家庭] P T A会長（図書館活性化推進委員）

[地域] 外部教育力（建築科講師・アイデアタワーの制作指導）

○めざす姿

・人とアイデアの集まる図書館

○取組内容

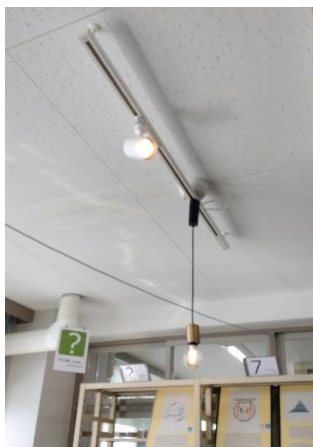
「工業高校での学びを活かしたりリニューアル」

わが街の課題（困りごと）を見つけ、「ものづくり」を通じて解決し、地元への感謝と愛を届ける「高校生工務店」。この活動を中心としたさまざまな学校の取組を支える場所として学校図書館のリニューアルを進めています。

学校・家庭・地域が連携したりリニューアルチームが策定した計画では、楽しくディスカッションしたり、アイデアを練ったりすることができる、心地よい図書館をめざすこととなりました。



ミニチュアを使ってリニューアルを検討



吊り下げ式やスポット式の照明

新たに設けるコミュニケーションスペースには、吊り下げ式やスポット式のLED照明を設置し、楽しい雰囲気をつくりました。また、学校図書館リニューアルの核となる「アイデアタワー（モニュメント）」等を制作し、コミュニケーションスペースに設置します。このアイデアタワーが学校図書館にあることで、いろいろなアイデアを貼りだしたり、学科の枠をこえて気軽に集まり意見交換したりできる場所となります。

これらの取組は、教員の指導を受けながら生徒たちがおこなっています。

生徒自身がリニューアルに携わることで、自分たちの学校図書館であるという意識が高まりました。

さらに、アイデアタワーを活用した交流の場や取り組むプロジェクトの紹介、研究や実施したプロジェクトの成果を発表する場として魅力ある学校図書館づくりをすすめていきます。



アイデアなどを貼りだせるアイデアタワー（モニュメント）

鳥羽高等学校図書館リニューアル

○リニューアルチーム

[学校] 生徒、図書委員会（教務主任・図書係・総合学科係・司書・教頭・校長）

[家庭] 保護者等

[地域] 鳥羽市立図書館（鳥羽市教育委員会事務局 図書館管理係主査）

皇學館大学（文学部国文学科准教授、ビブリオバトルサークル「ビブロフィリア」）

marudOT INC.（代表・理学療法士）、Ciao（オーナー）

江戸川乱歩館（鳥羽商工会議所）

○めざす姿

- ・生徒たちが学校に誇りを持てる質の高い活動がおこなえる学校図書館
- ・地域の特性を生かした観光教育や地域学習が可能な学校図書館
- ・主体的・対話的で深い学びが実現できる授業実践を創る学校図書館

○取組内容

「乱歩カフェ」

地域のカフェmarudOTのドリンクと、Ciao 特製のクッキーを手にした生徒たちは、鳥羽市ゆかりの江戸川乱歩の「押絵と旅する男」の絵本の読み聞かせを楽しみました。同時に学校図書館リニューアルについてのアンケートを実施し、生徒が望む図書館へのリニューアルにつなげました。



学校図書館に出店したカフェmarudOT(7/5)



大学生や学校司書によるビブリオバトル(8/25)

「江戸川乱歩ビブリオバトル&フィールドワーク」 「乱歩図書館へようこそ」

地域とつながりの深い作家である江戸川乱歩が作家デビュー100周年を迎えるのにちなみ、江戸川乱歩をテーマにした地域と密着したイベントを多数実施しました。

「アンケート結果を反映したリニューアル」

図書館イベントや保護者会でのアンケート結果をもとにレイアウトや家具の色を選び、図書館リニューアルを実施しました。

拡張したソファスペースには人気のクッション「yogibo」（ヨギボー）を置いてゆったりくつろげるようになりました。

生徒の希望をもとに新設する昼食スペースには、カウンター席とグループ席を設置しました。



←before



after→

伊賀白鳳高等学校図書館リニューアル

○リニューアルチーム

[学校] 経営科3年生徒、企画委員会+人権教育部主任+特別支援コーディネーター

[家庭] PTA役員会

[地域] 学校関係者評価委員会、伊賀市社会福祉協議会、伊賀の伝丸

○めざす姿

- ・伊賀白鳳高校図書館は伊賀白鳳高校の「交流」・「創造」・「自己実現」の場になる
交流 生徒が授業や部活動などをとおして自己表現し、交流する場
創造 ものづくりのヒントがある場、教員の多様な授業を支援する場
自己実現 地域と連携し、生きる力を磨く場

○取組内容

「学校図書館リニューアル計画の提案発表」

伊賀白鳳高等学校経営科3年生の生徒25名が、校内での事前アンケート結果をもとにした学校図書館の課題・特徴の整理と課題の改善策や図書館リニューアル計画の提案について、班別にプレゼンテーションを行いました。動物にふれあえる図書館や、図書館カフェなど、自分たちが行きたくなる図書館の提案がたくさん発表されました。ここでの提案をもとに自校に応じた図書館リニューアル計画を策定しました。



リニューアル計画を提案する経営科の生徒(6/28)



ケーキを提供するフードシステム科の生徒と地域の来館者(12/16)

電子ピアノの生演奏が流れる中、「不思議の国のアリス風ロールケーキ」などが提供され、ケーキをほおぼりながら絵本を読む子どもたちなどたくさんの地域の方に来館していただきました。

「図書館カフェ」

図書館とフードシステム科パティシエコースとが連携し、生徒が授業の一環として、絵本やマンガに出てくるお菓子のレシピや、カフェのレイアウトを試行錯誤し、生徒が集う場所、成果発表をする場所として活用できる図書館をめざして「図書館カフェ」を開催しました。

木本高等学校図書館リニューアル

○リニューアルチーム

[学校] 生徒（図書委員）、校長、教頭、図書部、国語科、地歴公民科、事務室、
図書館活動に関心のある教員

[家庭] 保護者

[地域] 熊野市立図書館、学校図書館サポーター

○めざす姿

- ・図書館が生徒の学習と進路実現を支える学びの場となる
- ・社会に出てからも自ら情報を収集し学ぶことのできる生徒を育む図書館となる
- ・全日制生徒だけでなく、定時制の生徒も利用しやすい図書館となる
- ・地域住民への情報発信をより強化し、地域の人も利用しやすい図書館となる

○取組内容

「開館時間の延長（利用ルールの変更）」

定時制生徒や、部活動がある生徒が利用できる時間を確保する為に、毎週水曜日と木曜日は午後七時まで開館を実施しました。他にも昼休みを飲食可能にするなど、利用者が増えるような利用ルールのリニューアルを実施しました。

この机は 昼休み飲食可

お願い

- 酒しゴムのカスなどは使い終わったら掃除してね！
- 机・イスは動かしたら元の場所に戻してね！
- 返す場所がわからなくなった本は、カウンター前のブックラックに置いてね！適当に置くと他の人が使いたいときに探せなくなるよ。
- 印刷は自分で使う部分だけ、必要な枚数だけにしてね！
- わからないことは司書に聞いてね！

図書館の使い方

開館時間
8:50~16:55
(延長日 8:50~19:00)

貸出ルール
貸出期間：2週間
貸出冊数：5冊

借り方
①借りたい本をカウンターに持って行く
②借りたいと司書が教員に伝え、本を渡す
③貸出処理をされたら持ち出しOK！

返し方
(閉館中)
カウンター上の返却カゴに入れる
(閉館中)
入口前の返却ポストに入れる
※返却した本を棚に戻す必要はありません

注意

1. お昼ご飯は机で食べてください。
2. 本を読むのは、食べ終わって片付けてからにしてください。
3. 自分のゴミは自分で片付けてください。

※食べ終わったら、カウンターにある**除菌セット**で机を拭いてね！

新しくなった学校図書館の利用ルール

「ボードゲームの設置」

図書館イベントとして、講師の先生を呼び、生徒含む参加者全員で「みんなで本をもちよって」というボードゲームを実施しました。学年を超えて交流できるゲームを実施し読書以外の本の楽しみ方を発見するとともに、図書館が身近な存在となるよう取り組みました。今後、館内にボードゲームを設置することで、イベントを継続していきます。



図書館のボードゲームで楽しむ生徒や職員(12/19)

「熊野市立図書館との交流・連携」

図書委員が熊野市立図書館を訪問し、棚の並びや使い方を学びました。現在本の紹介POPを作成しており、市立図書館へ展示される予定です。職員間で高校生の貸出を促進するための意見交流を行うなど、連携を深めています。



熊野市立図書館で本を探す生徒のようす